

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）安全・安心部会（R4.1.13）での意見と対応一覧

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
1	<b>経営課題1（めざす状態）</b> 「新しい生活様式を取り入れながら、幅広い世代が…」とあるが、幅広い世代をもう少し具体的にわかりやすい表現にしてはどうか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	特定の年齢層に限らず、子どもから高齢者の方々まで、すべての世代として表現させていただいております。	地域課（地域）
2	<b>経営課題1（今後5年間の施策の方向性）</b> 「ICTを積極的に活用」とあるが、各地域のICT活用の進め方がバラバラである現状、地域の実態を区役所として把握、認識しているか。そのうえで、活用をどうしていくつもりなのか。パソコンを使ってもレベルはいろいろである。どのようなアプローチができるか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	ICT活用には、様々な利用方法があり、用途や主な対象者によって、使い分ける必要も出てまいります。コロナ禍に関わらず、より多くの方々に必要な情報をお届けし、多様な主体が連携できる場を効果的に設定したいと考えております。 当区では、地域のみならず、ICTを積極的に活用できるきっかけとしていただけるよう、大阪経済大学と連携した「スマホ講座」開催のほか、Web会議の実践など、各地域の実情に応じた支援をさせていただきますので、ぜひ、ご相談ください。	地域課（地域）
3	<b>経営課題1</b> 「新たな担い手」とあるが、地域でどういうことに手を貸してほしいか、どんなことで困っているか、どういうことなら協力できるかのマッチングができればおもしろいのではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	マッチングの方法として、(大阪市市民共済活動総合ポータルサイトにあるボランティア募集ページなど)がご利用いただけます。また、現在[1月31日時点]、中学生以上の住民の方を対象として、地域活動に関するオンラインアンケートを実施しており、アンケート項目には活動したい分野についての設問も含めており、今後、集計結果については、公表を予定しています。なお、各地域団体におかれましても、集計結果を地域活動にご活用いただけると幸いです。	地域課（地域）
4	<b>経営課題1</b> 5年後、10年後より大事な今は今であり、活動できている今のうちに取り組んでいくことが大事ではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	将来ビジョンは区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していくうえで、地域としての区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめ、区民の方々に明らかにするものであり、中期的な視点（5年）をもって、目標を設定しており、その目標を達成するための年度ごとの取組は運営方針に掲げています。 年度ごとの具体的な取組事例は、参考資料として学習会の際にお示ししておりますので、ご参照ください。	総務課（総合企画） ・ 地域課（地域）
5	<b>経営課題1</b> コロナ禍を経験して、やらなくてもいいことも見えてきたと思うので、活動を整理（取捨選択）して、実情に合わせて、地域の担い手の負担軽減を考えていくべきではないかと。 そうすることで、協力してくれる人が増える（一人一人の負担が減る）のではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	コロナ禍のポジティブな一面として、これまでの活動の在り方を再検討いただき、各活動を整理していただく機会となった点があると思われれます。 各地域において、自律的な活動を行うために、それぞれの実情に応じた検討をいただきたいと考えており、必要に応じて行政として支援させていただきます。	地域課（地域）
6	<b>経営課題1</b> 地域で活動している人がどう困っているのか、逆に地域のことを手伝いたいが、一歩踏み出さない理由は何なのかというニーズ探りがある程度活動できている今のうちにやっておくべきではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	コロナ禍における地域活動状況アンケートを毎月実施しているほか、地活協会長向けアンケートや地活協構成団体向けアンケートを年1回実施し、状況の把握に努めるとともに、新たに、中学生以上の住民の方を対象として、地域活動に関するオンラインアンケートを実施しており、アンケート項目には活動したい分野についての設問も含めており、今後、集計結果については、公表を予定しています。	地域課（地域）
7	<b>経営課題1</b> 集まれてわかる楽しさもある中で、コロナ禍で集まれない状況がある一方、外出しなくても何でもできる。それぞれ良い面、悪い面の両方があるが、このような状況の中で新しい活動の分野ができてくるのではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	コロナ禍による影響もあり、ICTの活用が促進されたことで、地域活動の形も多様化してまいりました。 行政といたしましても、コロナ禍に関わらず、より多くの方々に必要な情報をお届けし、多様な主体が自律して連携ができるよう支援してまいります。	地域課（地域）

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）安全・安心部会（R4.1.13）での意見と対応一覧

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
8	<b>経営課題1</b> 地域の役員の高齢化に伴い、引き継ぐにも世代間でうまく引き継いでいけるのか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	各地域それぞれの事情があり、まずは、自律的な地域内の合意形成が必要です。 その際に必要であれば、行政としてアドバイス等の支援をいたしますので、ご相談ください。	地域課（地域）
9	<b>経営課題4</b> 9項目のめざす状態を達成するために地域間の温度差をどう解消していくか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	地域連絡会議や防災リーダー隊長連絡会、区ホームページなどを活用して、他地域の防災・防犯・交通安全の取組事例を共有しながら支援していきます。	地域課（安全安心）
10	<b>経営課題4</b> 交通安全、避難、防災等の区切りごとにセミプロになれるような取組が必要ではないか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	出前講座や広報紙、区ホームページなどを活用して引き続き啓発していきます。	地域課（安全安心）
11	<b>経営課題4（防災）</b> 地域ではどういうことから始めていけばいいかを具体的に示してもらえれば取り組みやすい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	防災リーダー隊長連絡会の場や区ホームページなどを活用して具体的に示していきます。	地域課（安全安心）
12	<b>経営課題4（防災）</b> 災害時の帰宅困難者等への取組があがっているが、現状で企業として包括協定（協力）してもらえるところはどのぐらいあるか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	東淀川区・淀川区と合同で支援している新大阪駅周辺地区帰宅困難者対策協議会会員は令和2年度末時点で33事業所・団体です。	地域課（安全安心）
13	<b>経営課題4（防災）</b> 西淡路地域に現在は閉鎖されている人権関係の建物が3棟あるが、そこに備蓄センターをつくる等の考えはあるか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	大阪市内の備蓄に関しては大阪市危機管理室が包括的に管理していますので、区として備蓄センターをつくる考えはありません。	地域課（安全安心）
14	<b>経営課題4（防災）</b> 個別避難計画の策定状況はどうなっているのか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	「災害対策基本法等の一部を改正する法律案」について閣議決定（令和3年3月5日）され個別避難計画の作成について、市町村の努力義務とされました。 当区としても、地域の皆様とも連携し、福祉施設や住民の方々の理解と協力を得ながら、個別支援計画の作成を支援していきます。	地域課（安全安心） ・ 保健福祉課（保健福祉）
15	<b>経営課題4（防災）</b> 各地域の備蓄物資等の状況を町会の方が把握し、実際に運用する際の役割分担はできているのか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	地域防災訓練の内容にも盛り込んできた経過がありますが、最近はコロナ禍の対応を重点的に取り組んでいること、また、訓練や学習会が実施できない状況が続いておりますので、防災リーダー隊長や連合振興町会長をはじめとした自主防災組織の役員の方と情報を共有しています。	地域課（安全安心）
16	<b>経営課題4（防犯）</b> 淀川3区で設置していた防犯カメラが維持費の関係で減っているが、区役所としてはどう考えているか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	淀川3区防犯プロジェクト事業（防犯カメラのリース設置）は平成30年度末で終了したところですが、その後は、限られた予算の中で、警察と設置場所を協議し、順次増やしています。	地域課（安全安心）
17	<b>経営課題4（防災）</b> 医誠会病院が移転した場合、災害時どこの医療機関と連携するのか。区として医療機関の誘致等は考えているのか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	大阪市として市内の広域医療救護に関する調整・活動を行うことになっていますが、区としても区医師会、区薬剤師会、区歯科医師会をはじめとした区内の医療機関との訓練を行うなど取組を進めています。	地域課（安全安心）
18	<b>経営課題4（防災）</b> 地活協を中心に備蓄物資を管理しているが、管理や保管場所を民間委託する等、効率的な管理ができないか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	災害時避難所に備蓄している物資は大阪市が管理しています。 地域でも備蓄されている物資もあると思われませんが、費用面や緊急時対応を考慮しますと主体的に管理される方が良いと考えます。	地域課（安全安心）

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）安全・安心部会（R4.1.13）での意見と対応一覧

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
19	<b>経営課題4（防災）</b> 水害と地震では逃げる場所が違うと思うが、避難所は常に小学校等だが、（高いところに避難が必要な）水害時に小学校への避難ができるのか。 小学校だと普段鍵が閉まっていて、鍵の管理を誰がしているか等を把握しておく必要がある。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	ご意見のとおり、災害種別により避難場所は異なります。 水害によって避難が必要な場合は、最寄りの水害時避難ビルや丈夫な建物の浸水しない上階に避難していただきます。また、小中学校にも避難していただけるように、避難情報を発令する前に浸水しない高さの校舎等の上階を避難場所として開設します。今後、これまで以上に災害種別ごとの避難行動の周知を進めていきます。	地域課（安全安心）
20	<b>経営課題4（防災）</b> 地域にある防災倉庫を実際の災害時に使用するか疑問。 地域によっては堤防横に防災倉庫があり、水害時には誰も行かないと思う。 設置場所は正しいのか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	防災倉庫には災害種別ごとに必要なものや管理されている方も様々あるかと思えます。適正な設置場所であるかについては、一概に回答が困難なことから、疑問に思われる倉庫について、個別にご相談いただければと思います。	地域課（安全安心）
21	<b>経営課題4（防災）</b> 水害時にメートル単位で浸水することのイメージができていない人が多い。 自地域がどのくらいまで浸水するのかを知っておいたほうが良い。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	ハザードマップを全戸配布するなど啓発に努めていますが、街なかでも浸水の危険性をイメージできるような取組を検討します。	地域課（安全安心）
22	<b>経営課題4（防災）</b> 建物（電柱）等に浸水する高さの目印があれば意識づけになるのではないかと。 HPでの周知やハザードマップではイメージしにくい。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—		
23	<b>経営課題4（防災）</b> 避難場所については、企業や地域との協力が必要ではないか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	避難所の開設・運営には、地域住民や企業等との協力が必要不可欠であると考えておりますので、今後とも、地域等と連携してまいります。	地域課（安全安心）
24	<b>経営課題4（防災・防犯）</b> 青パトを利用して防災の広報をしてはどうか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	青色防犯パトロールについては、防犯活動という制約のもと道路使用許可をとっており難しい面がありますが、避難の呼びかけ等の緊急時には活用することとしています。	地域課（安全安心）
25	<b>経営課題4（防犯）</b> 青パトの乗務員の高齢化が懸念される。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	地域の担い手の高齢化は大きな課題であり、新しい担い手の発掘・育成について、地域課として、地域と連携して取り組んでいるところです。	地域課（安全安心） ・ 地域課（地域）
26	<b>経営課題4（防犯）</b> 広報板に照明があれば防犯につながるのではないかと。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	区役所が設置している広報板への照明の設置については、電源の確保や維持管理などの関係があり困難です。	総務課（総合企画）
27	<b>経営課題4（交通安全）</b> 無灯火の自転車が多い。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	無灯火の自転車の取締りは警察の所管ですが、自転車マナーの啓発については、警察、地域等と連携して、区広報紙、ホームページ、SNS、啓発ちらし、各種キャンペーンにより引き続き実施してまいります。	地域課（安全安心）
28	<b>経営課題5（広報）</b> 問合せをしたら区のHPを案内される機会が多いが、利用者側には対応できない人もいますので、地活や連町会でもHPの掲載内容について周知してほしい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	地域連絡会や地域活動協議会連絡会議を活用して区役所の各事業担当から情報提供もさせていただいております。 今後も区民の関心が高い情報についてはHPだけでなく地域連絡会議等で周知してまいります。	地域課（地域） ・ 総務課（総合企画）
29	<b>経営課題5（広報）</b> HP等を見てもらうための動機づけができる広報を考えてほしい	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	HP、SNS、広報紙はそれぞれを補完する役割を持っていると考えています。 HP、SNS、広報紙それぞれを連携させることにより、各広報媒体を見たいと思える動機づけをしてまいります。	総務課（総合企画）

令和3年度東淀川区区政会議第2回（仮）安全・安心部会（R4.1.13）での意見と対応一覧

議題1：東淀川区将来ビジョン（素案）について

議題2：令和4年度東淀川区運営方針（素案）について

【当日出された意見等】

	意見内容	委員名	回答	対応	担当課
30	<b>経営課題5（広報）</b> 区のHPは見にくいので、作り方を工夫してほしい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	HPの見やすさにつきましては、スマートフォンでの見やすさに重点を置いています。 大阪市の使用しているHPシステムの仕様もあり、PCでもスマートフォンでも見やすいページを構築するのは難しいところですが、他区のレイアウトも参考に、どのような形が見やすいHPであるかを研究してまいります。	総務課（総合企画）
31	<b>経営課題5（広報）</b> 広報紙の配架について、区民の約3割には届いていない。全戸配布(毎月でなくても)できないか？ そうすれば地域の人に情報が入るのではないか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	広報紙の全戸配布は数千万円の追加費用が必要となるため困難と考えておりますが、一方で、広報紙の内容はSNSでもご覧いただけるため、引き続きフォロワーの獲得に努めてまいります。 また、小学校での配布は新聞購読世帯との重複も多いと思料されるため行いませんが、商業施設など配布場所を増やすことにより、広報紙が区民の目に触れやすい環境の構築、手に取ってもらえるような内容の充実を図ることにより区民の手に届く広報紙をめざしてまいります。	総務課（総合企画）
32	<b>経営課題5（広報）</b> 小学校で広報紙を配布して持ち帰ってもらうのはどうか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—		
33	<b>経営課題5（広報）</b> 区役所からの広報媒体は情報を見に行く人と待つ人でTwitter、LINE、広報紙等ニーズが異なる。 LINEは発信が多すぎると見なくなるが、定例（毎日何時）で発信してはどうか。	藤野委員、野掛委員、堀委員、矢森委員、橋本委員	—	ご指摘のとおり、LINEは通知が多いと煩わしく感じるユーザーが多くなり、ブロックされることにより届けたい情報が届かなくなることが起こりうることから、LINEによる発信は緊急性の高いものや、特に区民に伝えたい重要度の高い情報に限定しています。連日発信することも想定し、発信時間を検討してまいります。 日常のお知らせについてはTwitterやフェイスブックを使っての発信を基本としていますので、区Twitterの拡散力をより強めるためにフォロワーの増加及び拡散力の高い情報の提供に努めてまいります。	総務課（総合企画）
34	<b>経営課題5（窓口サービス）</b> 先日、マイナンバーカードの申請について、区役所に電話で問い合わせをしたが、区役所としてもマイナンバーカードの普及を推進しているのに、問合せへの対応ができていない。 また、梅田・難波のサービスカウンターでは当日、本人確認書、通知カード等を持っていけば15分で（申請）できるのに、区役所でははがきが来るのを待って、はがきが来たら予約を取って…と時間がかかる。（サービスカウンターでできることが）なぜ区役所できないのか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	電話でのお問い合わせに対応した職員が梅田、難波のサービスカウンターのマイナンバーカード申請時来庁方式を知らずに、ご迷惑をおかけしました。職員には周知徹底を図ってまいります。 申請時来庁方式は、予約なしで受付けていることから手続きされるまでの待ち時間が発生してまいります。交付時来庁方式で予約してカードの受け取りに来られた方と混在し混雑が想定されることから新型コロナウイルス感染防止状況下においては、当区役所の待合スペースの問題もあり、現時点では、申請時来庁方式の導入は想定しておりません。	窓口サービス課 （住民情報）
35	<b>その他（全体）</b> 言葉の定義がわかりにくいので、わかりやすい言葉を使ったり、箇条書きにする等、誰が見てもわかりやすくしてほしい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	会議資料については、これまでの区政会議でいただいたご意見を参考にわかりやすい資料作成に努めているところではありますが、他区の作成資料も参考にしながら、今後ともわかりやすい簡潔な資料の作成に取り組みます。 また、区民の皆様にお示しする将来ビジョン等につきましては、わかりやすい表現となるようにいたします。	総務課（総合企画）
36	<b>その他（学習会）</b> テーマを絞った学習会を開催してほしい。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	部会として、多くの課題があることから、学習会のあり方については、検討を行ってまいります。	地域課（地域）
37	<b>その他（経営課題2・3）</b> ヤングケアラー、メンタルが弱くなっている方のケアサポートがもっと必要ではないか。 自分たちがしてもらったことを次の世代にしてあげられるような住みやすいまちにしていければ、東淀川区は住んでよかったと思える、安全で安心な良いまちになっていくのではないか。	上杉委員、植原委員、宇田委員、小川委員、西本委員、窪田委員	—	ヤングケアラーについては今年度より大阪市が実態調査や関係機関への研修等を実施しています。区においては、子育て支援室に設置している相談窓口の周知徹底を行うなど、ヤングケアラー支援に取り組んでいます。今後も国や大阪市の動向をみながら区の取り組みを進めてまいりたいと考えております。	保健福祉課 （子育て・教育） ・ 保健福祉課 （保健企画）